

特殊鋼カンパニー事業戦略

日立金属 IR Day 2017

2017年5月31日

日立金属株式会社

執行役 特殊鋼カンパニープレジデント

佐藤 光司

特殊鋼カンパニー事業戦略

[目次]

1. メッセージ
2. 事業概要
3. アクションプラン
4. まとめ

OUR HERITAGE, YOUR ADVANTAGE **YSSヤスキハガネ**

日本独創の系譜を、世界のイノベーションへ

Hitachi Metals

「変化をチャンスに」

■ハガネと銅のコラボレーション

～SHカッパープロダクツの取り込みによるさらなる成長～

■モノづくり+営業の強化

■大型設備投資

特殊鋼カンパニー事業戦略

[目次]

1. メッセージ
- 2. 事業概要**
3. アクションプラン
4. まとめ

2-1. 事業構成

数多くのシェアNo.1 製品を持つ国内トップメーカー

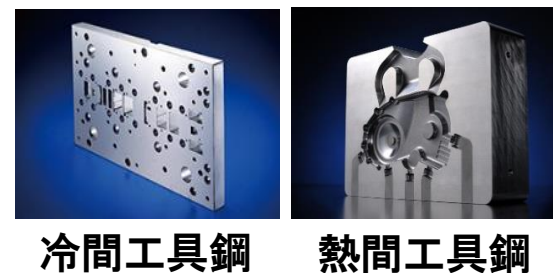
⑤ロール



⑥軟磁性部材



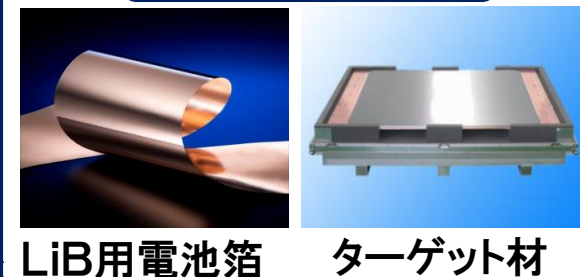
①工具鋼



②産業機器材



③電子材料



特殊鋼製品
セグメント

2016年度
売上収益
2,347億円

③電子材

②産機

④航エネ

⑤ロール

①工具鋼

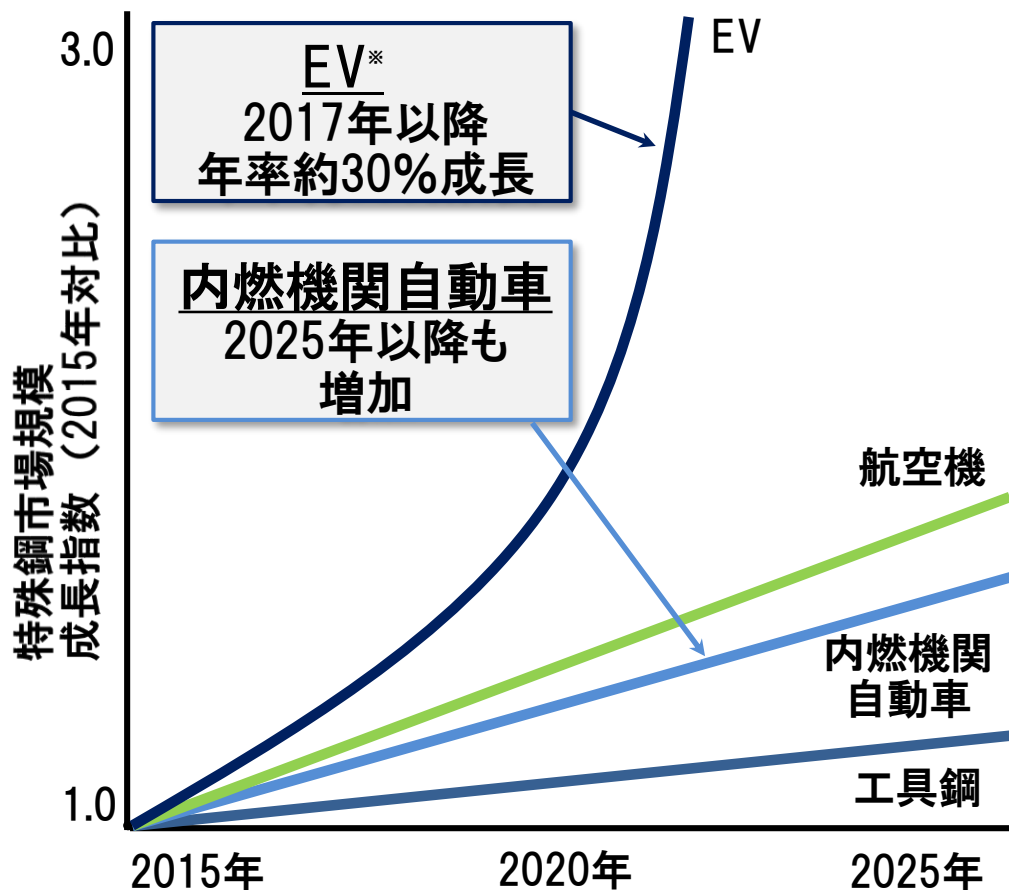
⑥軟磁

④航空機・エネルギー材



2-2. 市場環境

環境規制強化や省エネルギーのニーズの高まりに伴い、
環境親和製品の需要も拡大



出典: 各種調査資料を基に当社推定

※ハイブリッド電気自動車(HEV)、プラグインハイブリッド電気自動車(PHEV)を含む電気自動車(EV)を指しています。

<p>EV</p>	<p>EV部材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電池部材 ・高周波対応材料
<p>航空機・エネルギー</p>	<p>大型鍛造品</p> <ul style="list-style-type: none"> ・航空機エンジン部材 ・タービンブレード <p>ほか</p>
<p>内燃機関自動車</p>	<p>CVTベルト材 ピストンリング材 タービンホイール</p> <p>ほか</p>
<p>工具鋼</p>	<p>熱間工具鋼 冷間工具鋼 新鋼種(SLD-i™)</p>

■特殊鋼カンパニー基本方針と成長戦略

“Specialなハガネ”にこだわりグローバルで成長

モノづくり: “目からウロコ”の実践
営業力: 強みをさらに強く

大型投資効果刈取り

海外拠点の強化

■2018年度中期経営計画 目標

	2016年度	2018年度 目標※ (為替レート 1\$=110円)	16年対比増減
売上収益	2,347億円	3,200億円	136%
調整後営業利益	235億円	380億円	+145億円
調整後営業利益率	10.0%	11.9%	+1.9%
海外売上収益比率	41%	42%	+1%

※株式会社SHカップープロダクツ移管の影響を含んだ数値です。

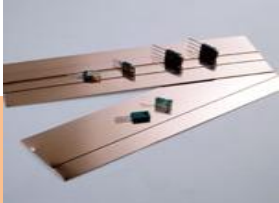
特殊鋼カンパニー事業戦略

[目次]

1. メッセージ
2. 事業概要
3. アクションプラン
4. まとめ

3-1. ハガネと銅のコラボレーション ①

電線材料カンパニー



所在地：茨城県
資本金：10億円
設立：2013年
従業員数：約500名
事業内容：銅条・電気用
伸銅品・銅加工品
の製造・販売

特殊鋼カンパニー

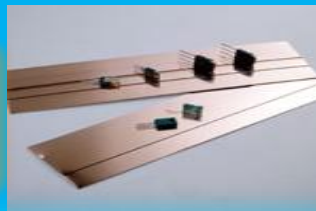
SHカッパープロダクツ

- 2017年7月1日
電線材料カンパニー
↓
特殊鋼カンパニー
所属カンパニー変更
- 2017年10月1日
営業統合
- 2018年4月1日
日立金属ネオマテリアル
との会社統合

お客様の製品への信頼性向上・高付加価値化に貢献

土浦工場*

伸銅製品
製造技術



日立金属
ネオマテリアル



クラッド帯技術

電子・電池分野の
シナジー創出

- ・ 共通顧客の窓口一本化
- ・ 技術ノウハウの共有化

次世代製品開発などの協働



広幅圧延技術

日立金属
安来工場

※株式会社SHカッパープロダクツは
2018年4月に株式会社日立金属ネオマテリアルの土浦工場となる予定。

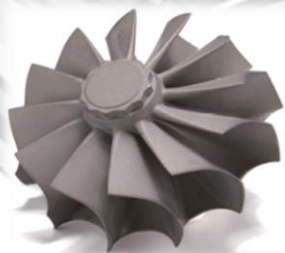
3-3. 自動車業界への取り組み

~Mid-Run~

内燃自動車エンジン
省燃費化需要への貢献



ピストンリング材



タービンホイール



CVTベルト材

~Long-Run~

EV業界の
コアサプライヤーへ



電池用クラッド材



軟磁コイル・コア材

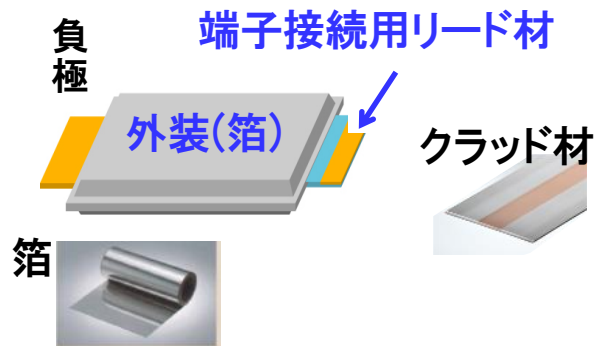
■電池部材市場の深耕

EV市場の拡大
(年率30%増の見通し)

薄箔、高強度クラッドの製品展開

蓄電池における 薄箔材・クラッド材の有用性

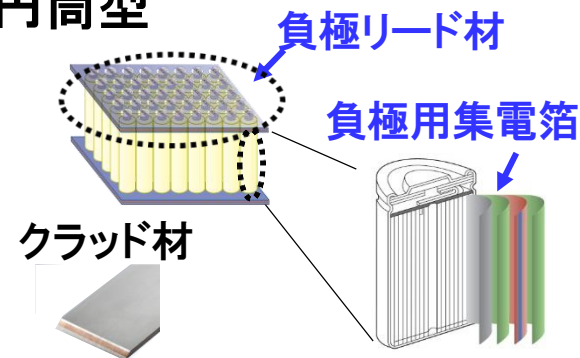
ラミネート型



導電性向上

軽量化
(部品点数の削減)

円筒型



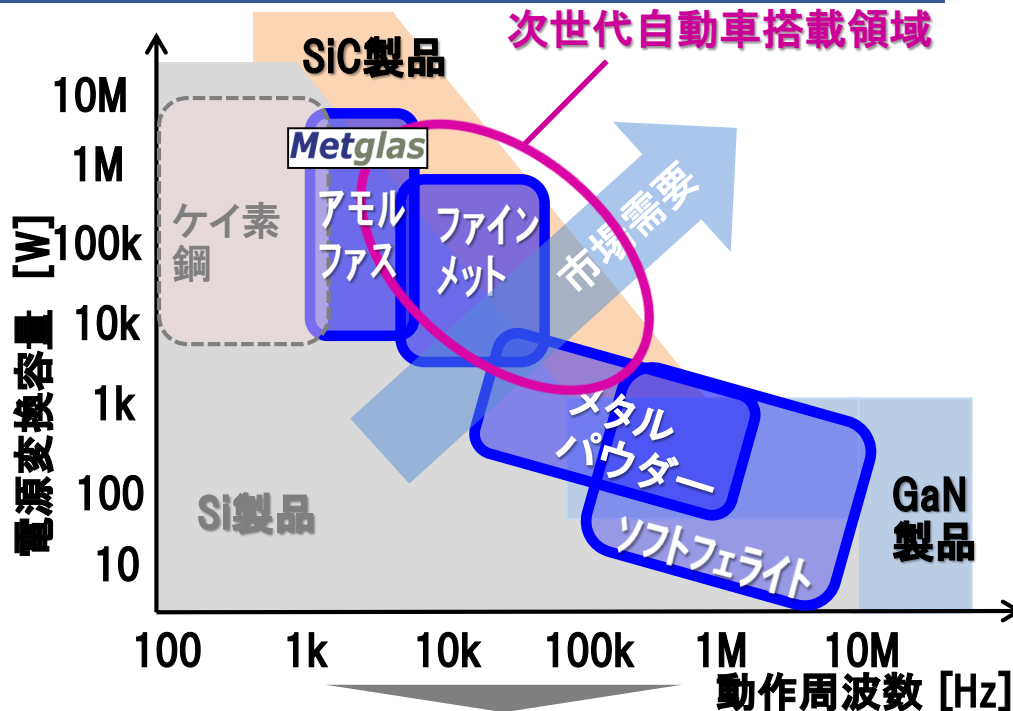
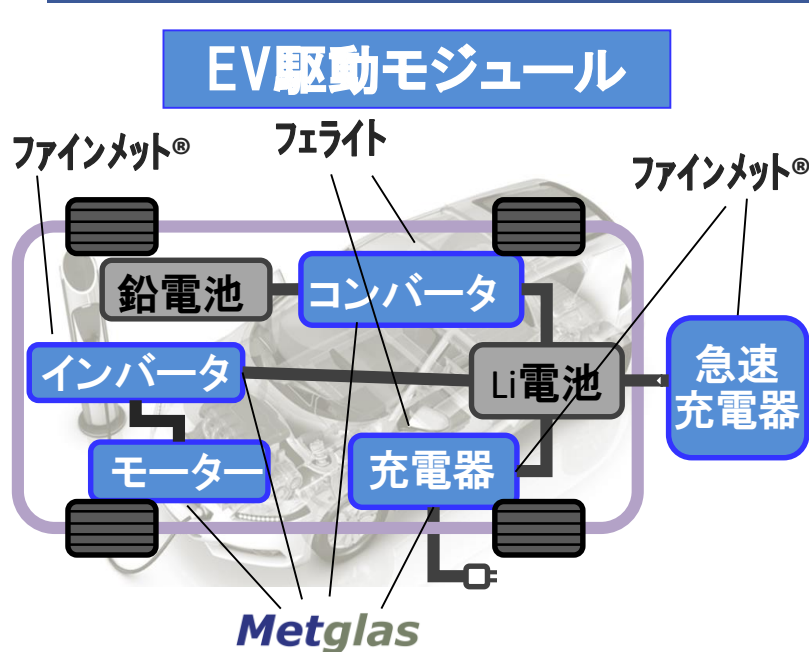
導電性向上

強度向上
(集電箔)

クラッド材関連事業 2020年度 売上目標 3倍^{*} (2016年度対比)

■軟磁性部材 新製品投入

材料と部品事業の一体化(16年度)⇒用途開発の加速



変圧器、チョークコイル、コア材など
形を変えてEVに搭載

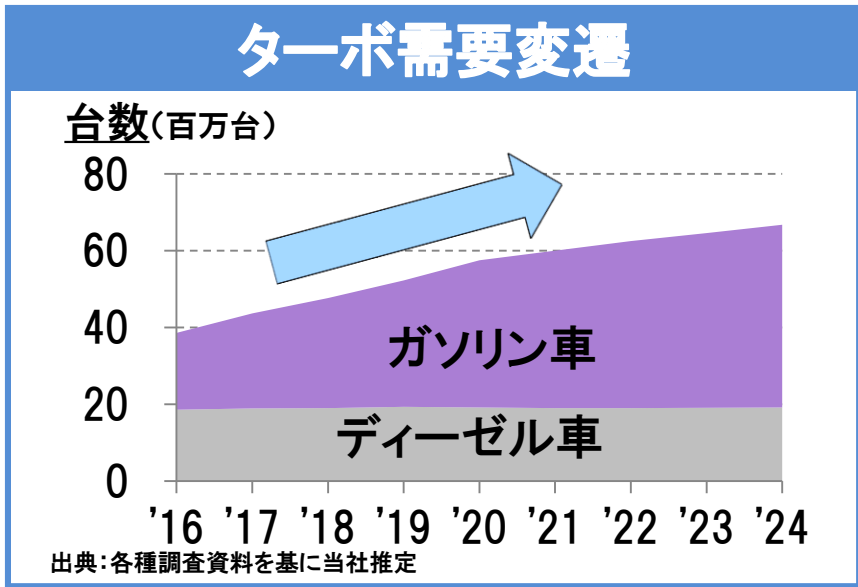
次世代需要にジャスト・フィット!

軟磁性部材 2018年度 売上目標 28%増 (2016年度対比)



タービンホイール

■ 日立メタルプレシジョンでの増産投資



**拡張+設備増強
生産能力1.5倍 (2020年)**



**型設計技術+短納期試作プロセス
お客様の満足度向上**

**業界トップサプライヤー
として更なる成長へ**



ピストンリング材

高品質材の提供

- ・異型引抜技術
- ・ミクロ組織制御
- ・当社オリジナル鋼種



日・中増産体制確立

- ・中国蘇州工場
(17年下期稼働)
- ・安来工場特殊線材工場
(18年下期稼働)



CVTベルト材

高品質材の提供

- ・介在物制御技術

平成28年度全国発明表彰
「特許庁長官賞」受賞



拡販環境整備

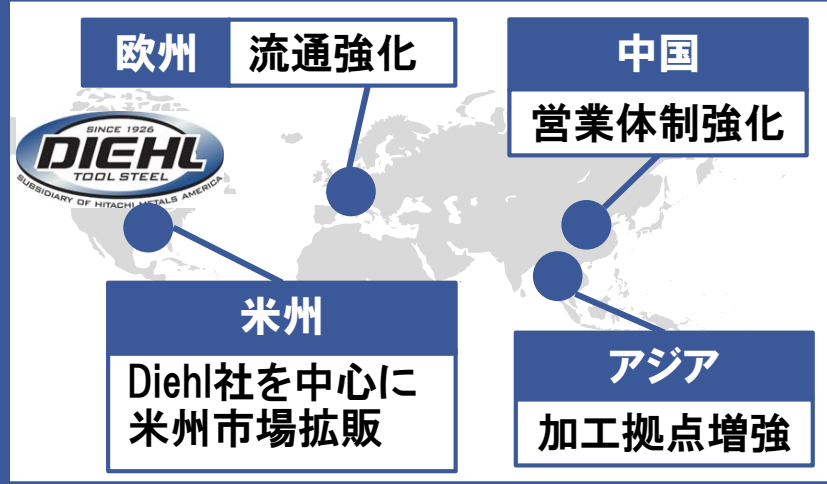
- ・安来工場
24トンの真空誘導溶解炉 (VIM)
- ・認定取得の加速
- ・新規顧客開拓

産機材 2018年度 売上目標 17%増 (2016年度対比)

3-8. 工具鋼：グローバル拡販の進捗状況

- ブランド浸透
- ソリューション推進
(営業・拠点・加工強化)
- ローカル人材強化
- 戦略鋼種「SLD-i™」

拡販促進
 ||
 「付加価値拡大」
 +
 「流通強化
 →短納期」



強みをさらに強く

ソリューション営業
 ~素材販売からソリューション提供へ~
 素材・加工・熱処理・表面処理の
 一貫提供



2018年度 売上目標 25%増 (2016年度対比)

3-9. 航空機・エネルギー材：世界の3強に挑戦

■ 航空機鍛造材メーカー世界3強に挑戦、第4極への地位確立

2010年		2015年	2020年
3社 シナジー を発現	日立金属 安来工場	▼24トンVIM ▼大型VAR	▼1万トン自由鍛造プレス ▼高速4面鍛造機
	日本エアロフォージ	▼5万トン型打鍛造プレス	
	日立金属 MMCスーパーアロイ	▼連結子会社化 ▼840トンリングミル	



▼2017年取り組み

- ・ 認証取得から量産へ
航空機エンジン大型ディスク・ケース
- ・ R&D



超合金
新技術開発

特殊鋼カンパニー
冶金研究所



2025年度 売上目標: 600億円

3-10. 戦略的投資計画

投資額：600億円(2016年度～2018年度累計)

[1] 競争力の源泉に重点投資



[2] 海外拡販網の強化

欧州流通拠点の確保



米国・アジア加工拠点増強

3-11. グローバル成長

海外売上比率: 41% (2016年度) ⇒ 42% (2018年度)

欧州

工具鋼: 流通機能構築
 航エネ: ターゲット顧客深耕
 産機材: 自動車関連市場の深耕

米州

工具鋼: Diehl社を核に拡販展開
 航エネ: ダイレクトビジネス実現
 ロール: 技術営業を集中的に投入
 軟磁: 顧客技術支援の強化

+30%

+23%

+46%

中国 工具鋼: ローカル営業体制強化

+58%

日本
+33%

アジア

工具鋼: プレート、表面処理拠点設立
 軟磁: ロビーイング活動強化

2016年度 2018年度

各グラフは、2016年度売上を1とした場合の2018年度売上との比較で、株式会社SHカップパープロダクツ移管の影響を含んだ数値です。

特殊鋼カンパニー事業戦略

[目次]

1. メッセージ
2. 事業概要
3. アクションプラン
4. まとめ

“Specialなハガネ”にこだわり グローバルで成長

特殊鋼カンパニー 2018年度 計画*

売上収益: 3,200億円
調整後営業利益: 380億円 (11.9%)

本資料に掲載されている情報のうち業績予想、事業計画および配当予想等の歴史的事実以外のものは、各資料の作成時点において、予想を行うために合理的であると判断した一定の前提および仮定に基づいており、内在する仮定および状況の変化等により、実際の業績と異なる可能性があります。その要因となるもの主なものは次のとおりです。

- ・主要市場(特に日本、米国、アジア、欧州)における経済状況および各種規制
- ・急激な技術変化
- ・競争優位性および新技術・新製品の開発・事業化を実現する当社および子会社の能力
- ・製品市場、製品市況の変動
- ・為替相場の変動
- ・国際商品市況の変動
- ・資金調達環境
- ・製品需給、製品市況、為替相場および国際商品市況等の変動に対応する当社および子会社の能力
- ・自社特許の保護および他社特許の利用の確保
- ・製品開発等における他社との提携関係
- ・日本の株式相場の変動



Materials Mag!c
日立金属